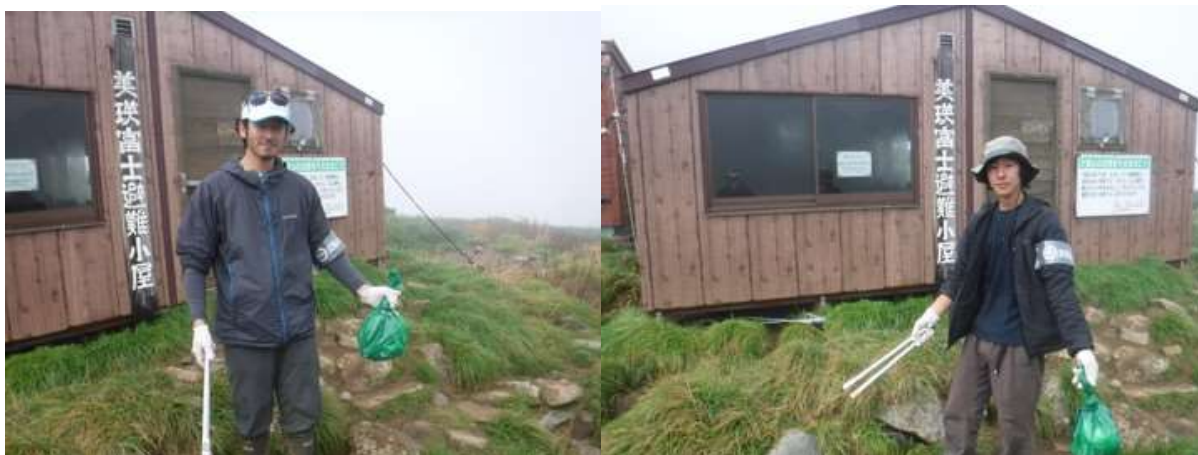


2020 年 9 月 15 日（火）美瑛富士小屋携帯トイレブース等点検パトロール



北海道山岳ガイド協会、会員 2 名によりパトロールを実施しました。



北海道大学ワングル部の 6 名が避難小屋を利用中だったので、入り口側半分の開いたスペースで清掃作業を実施しました。学生には、利用後の掃除と携帯トイレ使用について注意を促しました。



入り口側の窓に 30～40 程度のヒビを確認しました。ガムテープで応急処置をしてしまうと、今後専用のテープで補修するときに接着剤の跡が残ри、景観も悪くなることから実施しませんでした。



避難小屋裏、固定式トイレブースの近くにティッシュを確認、その下には人糞が隠されています。
手袋とビニール袋を使用し携帯トイレに回収しました。



同様のティッシュと人糞がもう一つありました。



すぐ近くにはの笹藪の上にもティッシュが散乱していました。



固定式トイレブース、目立った汚れはありません。便座は除菌シートで清掃しました。



ブースの固定に使われる鉄杭丸形は、支持力が弱く簡単に抜けてしまいます。スノーバーのようなアンカーを使用したほうが強固に固定することができるようになります。



避難小屋を固定するロープは、4カ所とも意図的に緩みを持たせているようでした。アンカーは強固です。



外観に目立った損傷はありません。



白金温泉観光センター横の回収ボックスは施錠されており、ゴミもなく空でした。

本日は、避難小屋利用の北大生 6 名、白金温泉コースからの単独日帰り登山者 1 名とそれぞれ会話をさせていただき、携帯トイレを携行・使用していることを確認しました。しかし避難小屋周辺の人糞及びティッシュの散乱は非常に残念で、今後一層のマナー向上、携帯トイレの普及が望まれます。余談ではありますが、十勝岳温泉・白銀層・望岳台と回収ボックスがありトイレブースのない富良野岳～十勝岳区間には、早急にブース設置の必要があるように思われます。